令和８年度「総会宣言・決議」

宣　　言

熊本県小中学校長会は、結成以来、心を一つにし、本県教育の充実・発展のため努力を重ねてきた。

多様な変化に対応した教育改革が進められている今、県民の教育に対する期待は大きく、次代を担う人材を育成するため、新しい時代にふさわしい義務教育の創造と充実が望まれている。

また、多発する大規模な自然災害、新たな感染症の影響及び国際情勢の不安定化は、正に予測困難な時代を象徴するものであり、今後、このような危機に対応できる強靭さとしなやかさ（レジリエンス）を備えた社会の構築が求められている。

そこで、熊本県小中学校長会は、これらの課題解決に向けて、教育活動全体を通じたウェルビーイングの向上に努め、教職員一人一人のワークライフバランスのとれた魅力ある職場づくりを推進するとともに、命の大切さを学び、思いやりや人々の絆等を深める教育と実践的な防災教育の一層の充実を図る。さらに、広く県民の理解と協力を得て、本県教育の更なる充実・振興のため、校長の職能の向上を目指し、研究と実践に全力を傾けることを決意する。

ここに、総会を開催するにあたり、県内各小中学校長の結束をますます強め、特に次の事項を決議し、その実現を期する。

決　　議

一　「令和の日本型学校教育」の充実を目指して、学校教育の質の向上を通した、全ての子供たちへのよりよい教育の実現に向けた取組を推進する。

一　生命尊重の精神を基底に据え、規範意識や危機意識及び主体的に判断・行動する力を高める教育を推進するなど、生徒指導及び安全対策の充実・徹底を図る。

一　教職員の資質・能力の向上及びコンプライアンスの徹底を目指して、校長自ら襟を正すとともに、教職員の不祥事を根絶し、信頼される学校づくりを推進する。

一　学校、家庭、地域、行政、子供の五者が連携を更に深め、地域とともにある学校づくりを推進するとともに、学校の組織力向上を図る。

令和８年５月２９日

熊本県小中学校長会